

## 社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	地域住宅支援
	計画の名称	立山町における安全・安心な住環境の推進(立山地域住宅計画)
	交付対象	立山町
	計画期間	平成30年度～平成34年度(5年間)
	計画の目標	〇より多くの住民が住みやすさを実感できるような、安全・安心な住環境の推進を図る。
	定量的指標 (目標値)	町内における空き家379棟(平成28年度空き家実態調査)を基準とした空き家の減少率。
	対象事業	4-1-(1) 地域住宅計画に基づく事業
全体事業費	15百万円	

項 目	評 価 細 目	評 価	説 明 欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	立山町総合計画及び立山町空家等対策計画との整合が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題に対し、「より多くの住民が住みやすさを実感できるような、安全・安心な住環境の推進」を目標としている。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標と定量的指標が整合されている。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	立山町総合計画及び立山町空家等対策計画に関連した指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	事業内容の実施により、目標に近づくことができる。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	事業内容の実施により、指標の達成度を示すことができる。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	計画の対象となる事業は、「より多くの住民が住みやすさを実感できるような、安全・安心な住環境の推進」に直接関係するものである。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	立山町空家等対策計画に基づき、円滑に実施できる。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	関係者等からは、同意又は理解を得られている。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ</div> 事業を実施 評価Ⅱ 計画の見直し		【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの